

KYOTOの文化やおもてなしを 世界に発信

1 目的・概要

2020年に開催される東京オリンピックへ向け、政府は訪日外国人観光客数の年間目標値を4000万人へと上方修正をしました。こうした政府の発表からも分かるように、インバウンド対応は今後の日本、とりわけ主要産業にとって重要な課題の1つとなっています。主要産業の中でも観光・ブライダル業界はインバウンド対応の1つとして、訪日外国人観光客に日本国内で挙式を挙げてもらう『インバウンドウエディング』という新たなサービスを始めま



した。本プロジェクトは、観光・ブライダル業界におけるインバウンド対応を世界的な観光都市《京都》で行うための施策を企画・立案し、今後の可能性を提案することを目的としています。

その目的を達成するため、第1ステップとして観光・ブライダル業界に関する現状をゲストスピーカーの方からの講演や現場視察、事例研究を通して学びました。その後、第2ステップとして4チームに別れ、これまで得た知識を基にグループワークを行ってきました。最終的には各チームが共通の目的意識を持ちながらも、異なる方向性で企画提案ができたため、インバウンド対応の将来性について深く考えることができたと感じています。

Annual Schedule

2016年	10月	インバウンド概論 ゲストスピーカー講演
	11月	ブライダル概論 ブライダル事例の紹介と研究 TAKAMI BRIDAL KYOTO 視察
	12月	グループワーク（企画案の決定と推進）
2017年	1月	成果報告会に向けた準備

2 成果達成度

A 班 | 島越 春奈、尾松 万緒、北村 光、宿里 千佳子

企画案 | 《森の京都》の活性化

企画概要 | コンセプトは、【ホッとできる自然のあたたかさを街中へ】

京都市内で森の京都*の魅力を知ってもらうためのイベントを企画しました。

具体的には、『森の京都レストラン』『特産品市場』などを行い、フランス人の誘致に取り込みました。

(*森の京都…京都府中部の6市町村、亀岡・南丹・京丹波・福知山・綾部・京都市右京区京北を指す。)



B 班 | 水谷 明香里、佐原 梨愛菜、山口 莉奈、中矢 真理菜

企画案 | 宇治の紹介パンフレットの作成

企画概要 | 宇治市は府内の他の市と比べて観光客が少なく、現在打ち出しているPRムービーも再生回数が伸び悩んでいます。そのため、ターゲットを日本リピーターの中国人観光客に絞ったパンフレットを作成し、お茶や平等院だけでなく、宇治市全体のPRに力を入れました。

C 班 | 池淵 健人、村中 涼太、大井 唯、井上 絵美梨、林 眞子

企画案 | 空港内でのフォトスポット設置

企画概要 | 空港内でのブチ和装結婚式、日本や京都の景観を背景パネルにしたフォトスポットを設置し、その場で写真撮影ができるイベントを企画しました。



D 班 | 石田 晴菜、後呂 真子、河嵜 梨江、佐藤 ふみ香、西尾 和大

企画案 | 十二単を用いたフォトブライダル

企画概要 | コンセプトは【KASANE】

十二単の持つ色の「重ね」。結婚式後に続いていく二人の日々の「重ね」。日本のおもてなしという伝統の「重ね」。様々な「重ね」を体感できる欧米人をターゲットとしたフォトブライダルを企画しました。

3 プロジェクトを通じて

このプロジェクトを通して、メンバーは『答えのない問題に取り組む難しさ』と『チームとして1つの課題に取り組むことの大切さ』を学びました。この2点は、普段の講義の中ではなかなか得ることのできない貴重な経験だと思います。また、この科目は学部・学年を問わず、全学生が参加することができるため、他学部の学生の考えや価値観を吸収することができる環境があります。こうした環境を学生時代から経験できたことは、この科目の大きな利点だと考えています。

また、「インバウンド×ブライダル」という今回のテーマは普段の生活ではあまり馴染みのない内容だと思います。しかし、普段の生活で触れることができない内容だからこそ今回の経験を活かし、インバウンドという日本全体の課題に触れることができたこと、そして、「結婚」という人生の中の大きな節目に関われたことは、私たち学生にとって非常に喜ばしいことであり、これからの自信につながっていくと感じています。



編集後記

メンバー1人1人が様々な思いを持って取り組んだ科目でした。そんなメンバーが最後までやりきれたのは、リーダー、SA、そして最後まで各チームの提案を見てくださった岡田先生のおかげだと感じています。

最後になりますが、本プロジェクトに関わってくくださった TAKAMI BRIDAL の皆様に心より御礼申し上げます。

ありがとうございました。

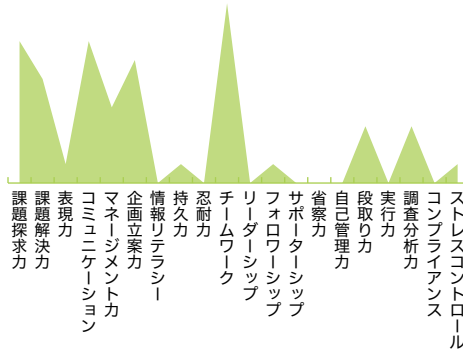
プロジェクトメンバー

河島 梨江(文2) 北村 光(文2) 中矢 真理菜(文2) 佐原 梨愛菜(文2) 佐藤 ふみ香(文2)
井上 絵美梨(文3) 尾松 万緒(文3) 水谷 明香里(社会3) 村中 涼太(社会3) 池淵 健人(法2)
林 真子(法3) 大井 唯(経済2) 西尾 和太(商3) 島越 春奈(商3) 後呂 真子(商3) 石田 晴菜(政策3)
宿里 千佳子(グローバル地域文化2) 山口 莉奈(文化情報3) 菊池 健斗(SA)

プロジェクト活動 アンケート集計結果

授業開始時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい



授業終了時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい

Q2 プロジェクト活動を通して実際にあなたが「身についたと思う要素」を選んで下さい

